

代打の職人 名刺 OCR 操作マニュアル

1 事前準備

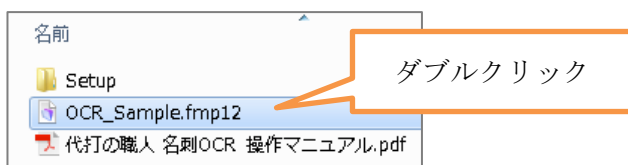
1-1 ScanScap の接続の確認

- ① ScanScap が PC に接続されていて、電源が入っていることを確認してください。
- ② ScanScap Home がインストールされていることを確認してください。

2 「代打の職人 名刺 OCR」の動作確認

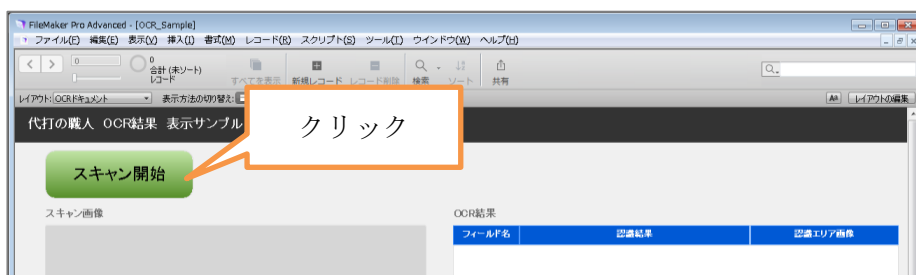
サンプルファイルを使って、「代打の職人 名刺 OCR」の動作確認を行います。

- ① 「代打の職人 名刺 OCR」フォルダ（インストーラーの入れたフォルダ）の中にあるファイル「OCR_Sample.fmp12」をダブルクリックで開きます。

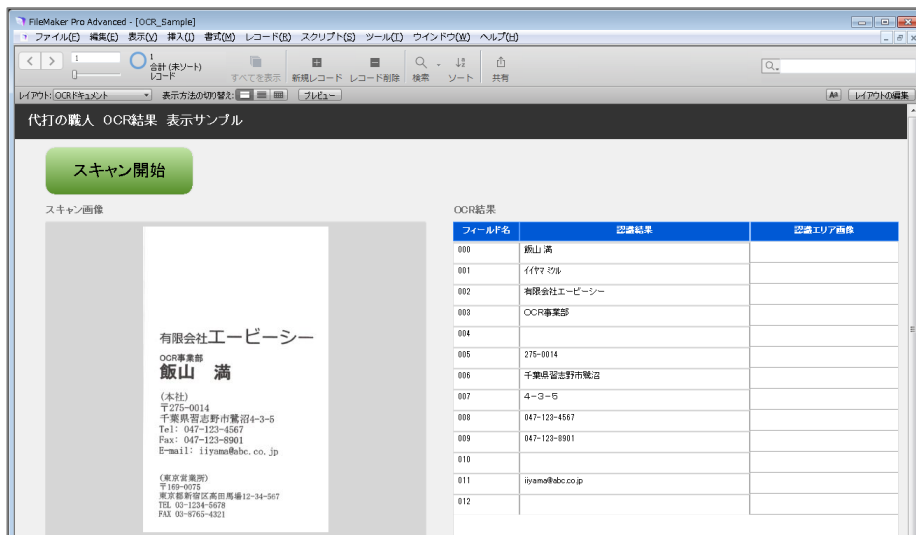


- ② 以下のような画面が表示されます。

ScanSnap に名刺を 1 枚セットして、[スキャン開始] ボタンをクリックします。



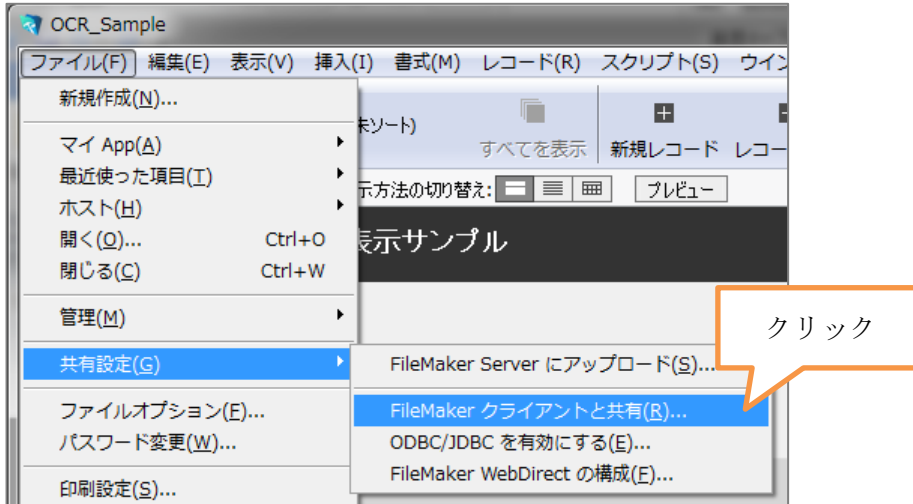
- ③ ScanSnap がスキャンを開始して、名刺の画像と認識結果が画面に表示されます。これで動作確認は完了です。



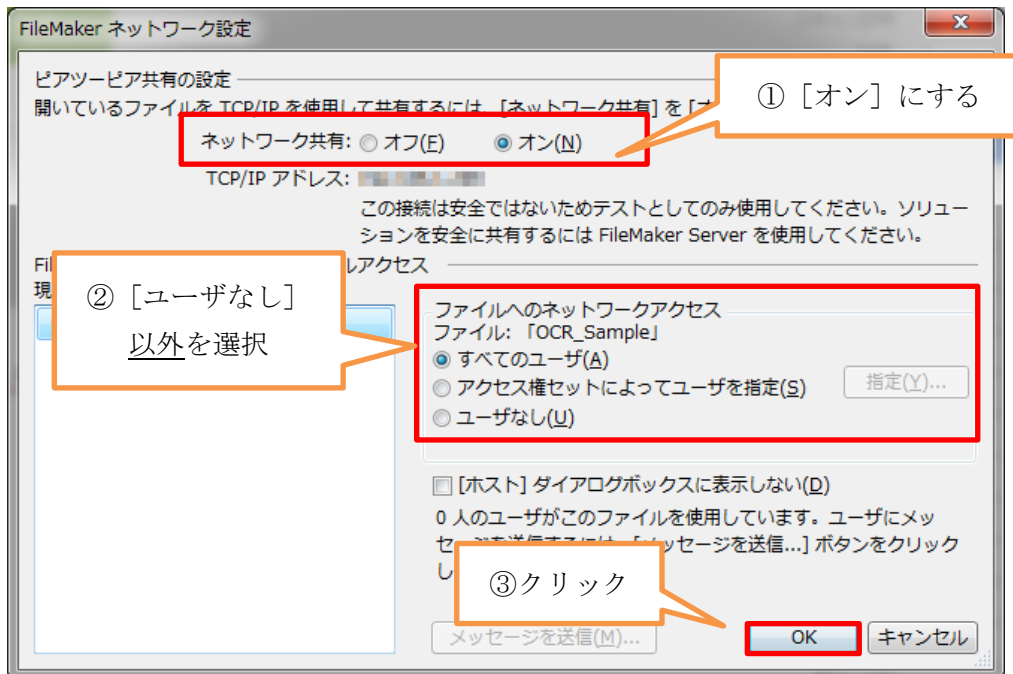
3 お客様が作成したデータベースへの書き込み

3-1 データベースの設定

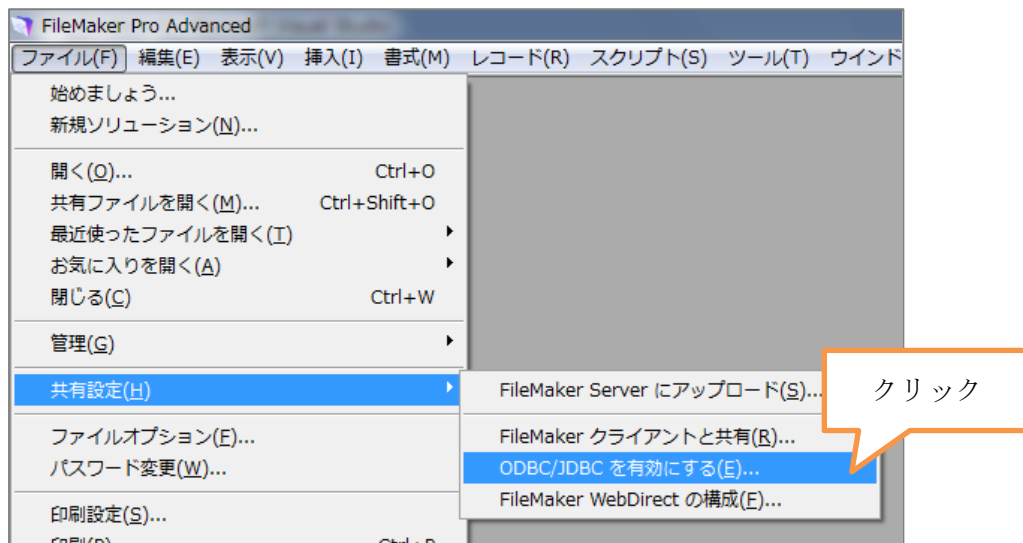
- ① お客様が作成したデータベース（以下「データベース」）を起動し、
[共有設定] → [FileMaker クライアントと共有] をクリックします。



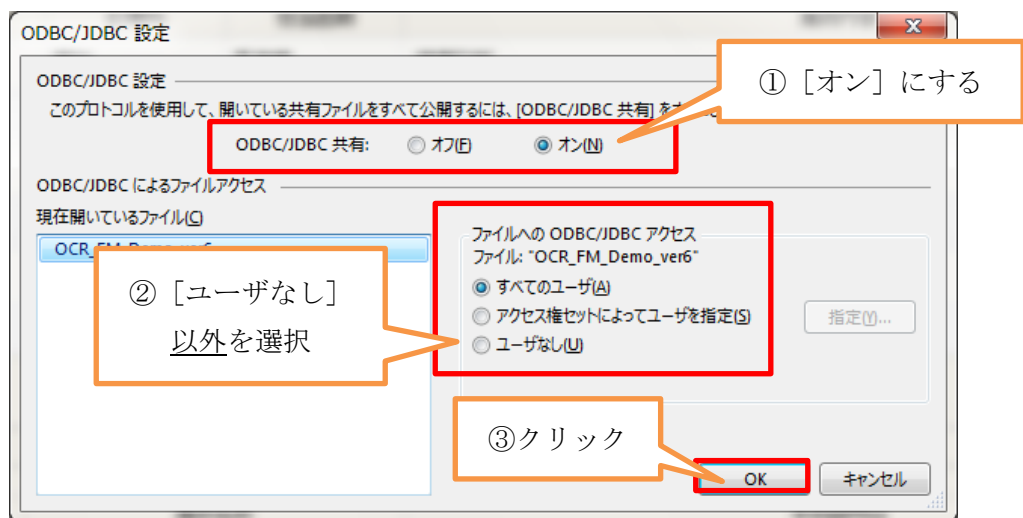
- ② [FileMaker ネットワーク設定] 画面で、[ネットワーク共有] を [オン] にして、
[ファイルへのネットワークアクセス] で [ユーザなし] 以外を選択し、
[OK] をクリックします。



- ③ [共有設定] → [FileMaker クライアントと共有] の下にある、
[ODBC/JDBC を有効にする] をクリックします。



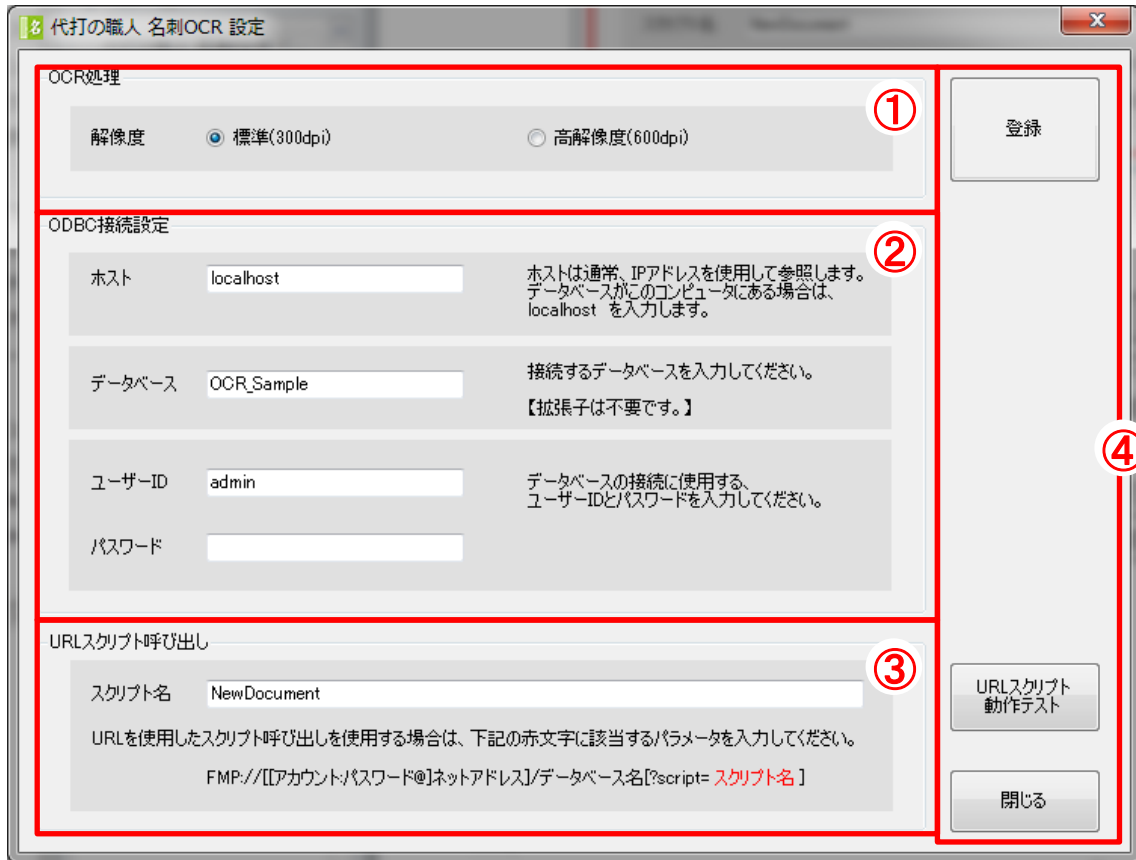
- ④ [ODBC/JDBC 設定] 画面で、[ODBC/JDBC 共有] を [オン] にして、
[ファイルへの ODBC/JDBC アクセス] で [ユーザなし] 以外を選択し、
[OK] をクリックします。



3-2 「代打の職人 名刺 OCR」の設定

データベースを開いた状態で「代打の職人 名刺 OCR」のショートカットアイコンをダブルクリックすると、以下のような設定画面が表示され、接続するデータベースの各種設定を行えます。

※ データベースを開いた状態で設定を行ってください。



① OCR 処理

項目	説明
解像度	解像度を選択します。

② ODCB 接続設定

項目	説明
ホスト	接続するデータベースのあるホストを入力します。
データベース	接続するデータベースのデータベース名を、 <u>拡張子無し</u> で入力します。
ユーザーID パスワード	接続するデータベースのユーザーID とパスワードを入力します。

③ URL スクリプト呼び出し

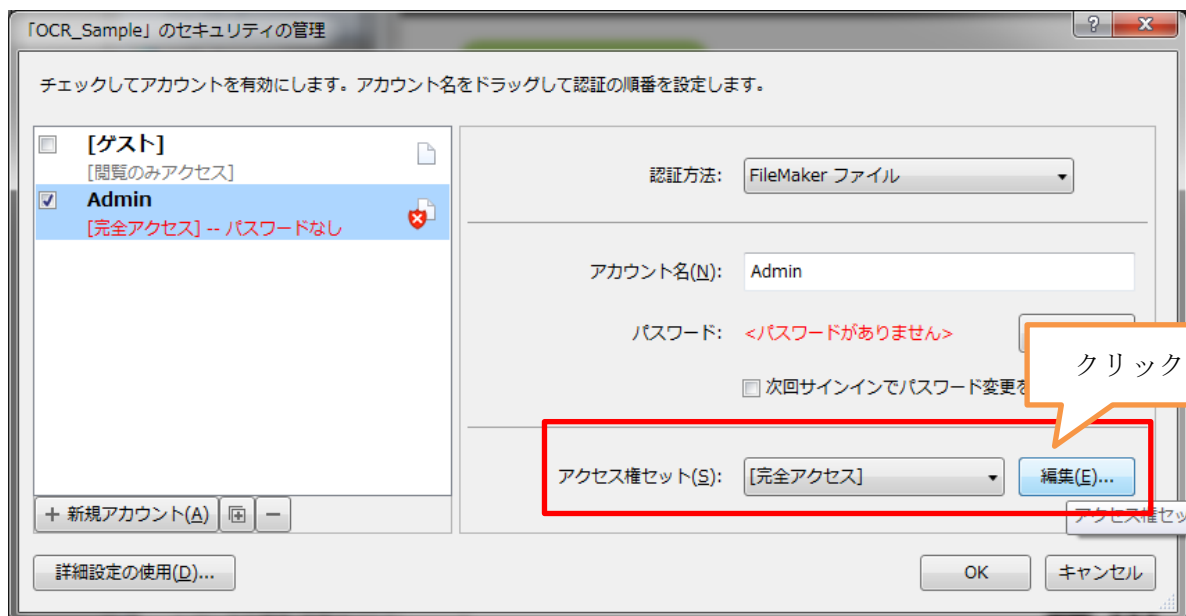
項目	説明
URL スクリプト呼び出し	OCR 処理後にスクリプトを呼び出したい場合は、スクリプト名を入力します。 値を空にした場合は、本処理は行われません。

④ ボタン

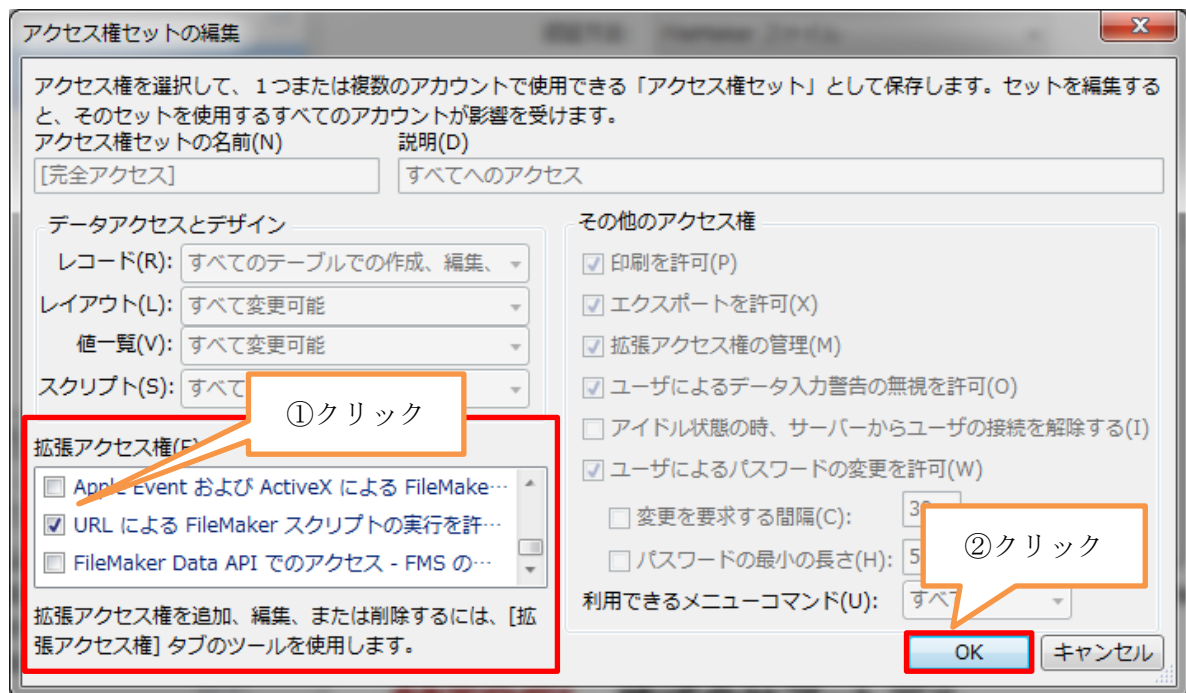
項目	説明
登録	データベースへの ODBC の接続確認が行われます。 その後、OCR 結果を格納する為のテーブルが作成されます。 データベース用の接続設定が保存されます。
URL スクリプト 動作テスト	[URL スクリプト呼び出し] で設定したスクリプトが動作するかどうかをテストします。 (詳細は 3-2-1 URL スクリプトの実行をご参照ください)
閉じる	画面を閉じ、「名刺 OCR」を終了させます。

3-2-1 URL スクリプトの実行

- ① メニューから、[ファイル] → [管理] → [セキュリティ] をクリックし、
[セキュリティの管理] の画面を表示します。
- ② OCR からのアクセスに使用するユーザーを選択して、[アクセス権セット] の [編集] ボタン
をクリックします。



- ③ [アクセス権セットの編集] 画面で、[拡張アクセス権] の中の [URL による FileMaker スクリプトの実行を許可] を ON にして、[OK] ボタンをクリックします。



以上で、指定した URL スクリプトの実行が行えます。

3-3 スキャン

以下の実行ファイルを起動することで、ScanSnap がスキャンを開始して、OCR 結果がデータベースに書き込まれます。

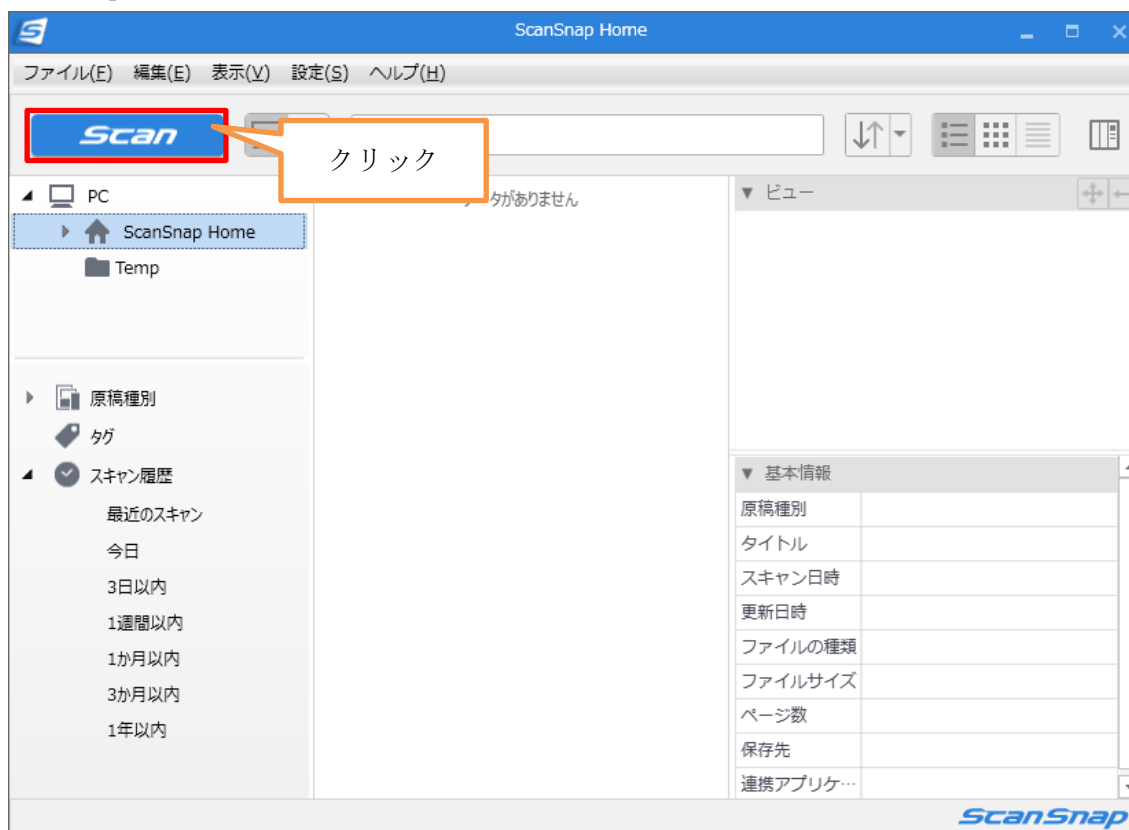
実行ファイル名 C:¥DaidaCard¥DaidaCard.exe

- ※ データベースを開いた状態でスキャンを行ってください。
- ※ 設定画面を表示させたままだとスキャンできませんので、スキャン時は設定画面を閉じてください。

ボタン等で、上記の実行ファイルを起動する処理を作成してください。

3-3-1 タッチパネルへのボタンの追加 (ScanSnap iX1500 のみ)

- ① ScanSnap Home を起動し、画面左上の [SCAN] ボタンをクリックします。

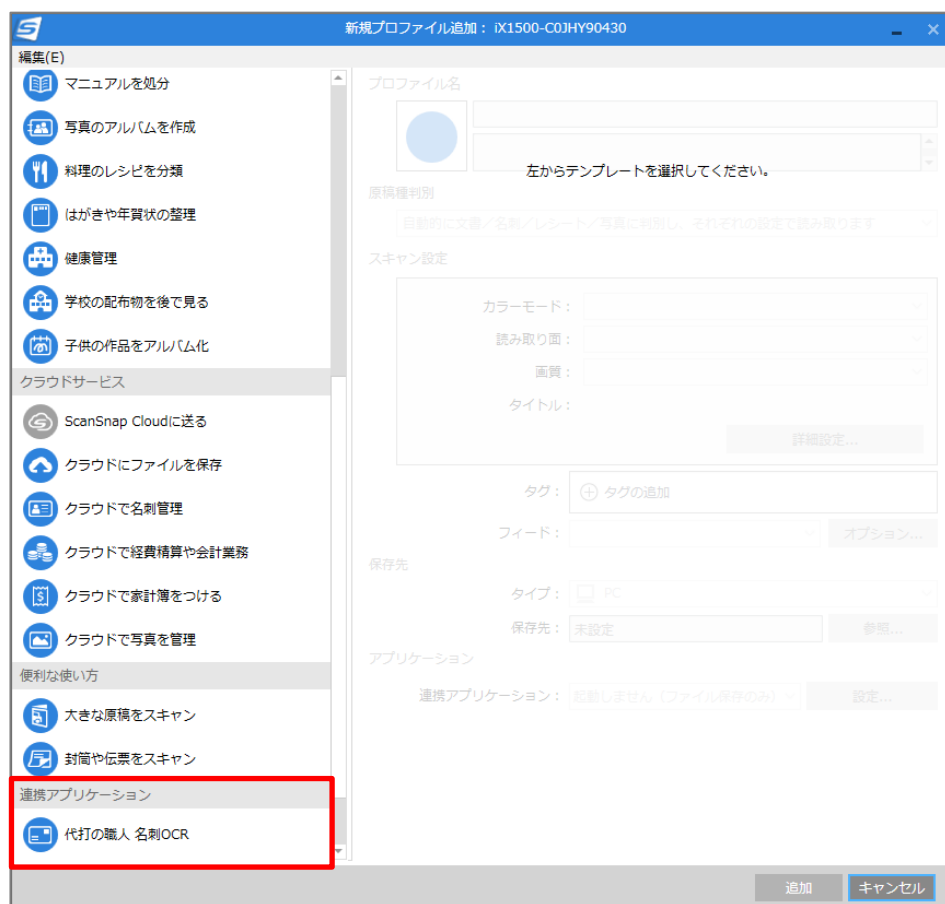


- ② [ScanSnap Home – スキャン] の画面が表示されたら、[プロファイル追加] のボタンをクリックします。

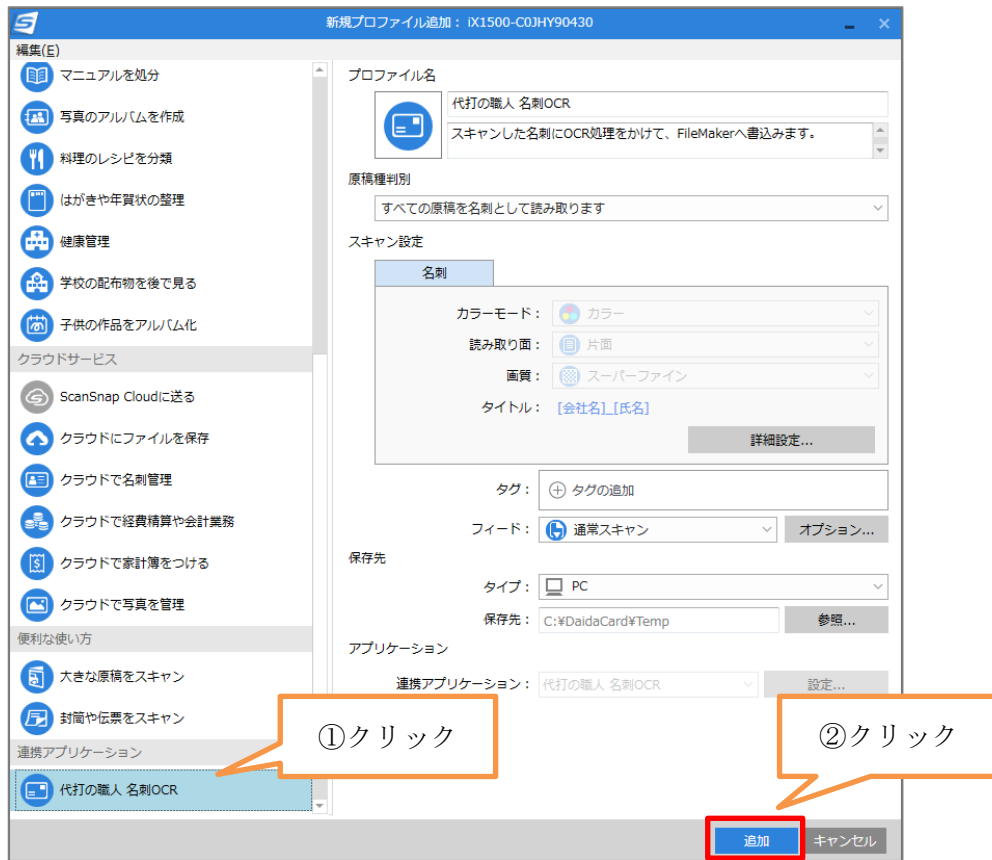


③ [新規プロフィール追加] の画面が表示されます。

画面左のスクロールを下に送ると、[連携アプリケーション] の中に [代打の職人 名刺 OCR] があります。



- ④ [代打の職人 名刺 OCR] をクリックすると、画面右側に設定内容が表示されます。
設定内容は変更せずに、[追加] ボタンをクリックします。



- ⑤ [代打の職人 名刺 OCR] のボタンが追加されます。



- ⑥ [ScanSnap Home – スキャン] の画面を、右上の [×] ボタンをクリックして閉じます。
ScanSnap 本体側のタッチパネルにもボタンが追加されます。



- ⑦ ScanSnap に名刺を置いて、タッチパネルの [代打の職人 名刺 OCR] ボタンをタッチすると、名刺のスキャンが行えます。

4 OCR 結果格納テーブル レイアウト説明

DAIDA_OCR_DOCUMENT

名刺 1 枚で 1 レコード作成されます。

No.	フィールド	タイプ	項目	説明
1	doc_image_id	数字	画像 ID (主キー)	名刺 1 枚毎の ID [DAIDA_OCR_FIELD]と紐づく ID
2	doc_timestamp	タイムスタンプ	スキャン日時	スキャンして画像が保存された時の日時
3	doc_form_name	テキスト	帳票名	以下が入る。 有料版：名刺 OCR 無料版：名刺 OCR 無料版
4	doc_status	数字	処理状態	成功：1 失敗：マイナスのエラーコード
5	doc_err_msg	テキスト	エラーメッセージ	未使用
6	doc_image	オブジェクト	名刺画像 (表)	名刺の表面の画像が入る。 有料版：JPEG 無料版：PDF
7	doc_image2	オブジェクト	名刺画像 (裏)	未使用

DAIDA_OCR_FIELD

名刺の認識項目毎に、1 レコード作成されます。

[DAIDA_OCR_DOCUMENT]の[doc_image_id]と[DAIDA_OCR_FIELD]の[fld_image_id] が紐付いて、1 対 n の関係となっております。

No.	フィールド	タイプ	項目	説明
1	fld_id	数字	主キー	ユニークな番号が入る。
2	fld_image_id	数字	画像 ID	[DAIDA_OCR_DOCUMENT]と紐づく ID
3	fld_field_name	テキスト	OCR フィールド名	[001~012]の項目番号が入る。※下記参照
4	fld_text	テキスト	OCR 結果(修正後)	両方に、同じ OCR 結果が入る。
5	fld_text_origin	テキスト	OCR 結果(修正前)	
6	fld_err_reject	数字	要確認フラグ	未使用
7	fld_err_dic	数字	辞書エラーフラグ	未使用
8	fld_err_check	数字	論理エラーフラグ	未使用
9	fld_rect	テキスト	座標情報	未使用
10	fld_image	オブジェクト	フィールド画像	未使用

名刺の OCR 項目

No.	OCR フィールド名	名刺項目	説明
1	001	氏名	
2	002	フリガナ	名刺に無ければ、姓名辞書から取得
3	003	社名	
4	004	部署	
5	005	役職	
6	006	郵便番号	
7	007	住所 1	都道府県、市区群町村、町域まで
8	008	住所 2	丁目、番地以降、建物名
9	009	電話番号	
10	010	FAX 番号	
11	011	携帯電話番号	
12	012	メールアドレス	
13	013	URL	